

施策評価調書(27年度実績)

施策コード Ⅲ-1-(4)

政策体系	施策名	信頼される学校づくりの推進	所管部局名	教育庁	長期総合計画頁	141
	政策名	生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造	関係部局名	教育庁、福祉保健部、生活環境部		

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③	④
取組項目	目標達成に向けた組織的な取り組みの推進	地域とともにある学校づくりの推進	教職員の意識改革と資質能力の向上	魅力ある高等学校づくりの推進
取組No.	⑤			
取組項目	魅力ある私立学校づくりへの支援			

【Ⅱ. 目標指標】

指 標	関連する取組No.	基準値		27年度			31年度	36年度	目標達成度(%)					
		年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	目標値	25	50	75	100	125	
i 学校評価に基づく改善策に関する家庭・地域との協議の実施率(%)	小学校	①②	H25 16.0	20.8 (H26)	34.8 (H26)	167.3%	40.0	65.0						
	中学校	①②	H25 13.0	16.6 (H26)	25.4 (H26)	153.0%	30.0	45.0						

【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等	平均評価
i 達成	学校の目標や方針を家庭・地域と共有する目標協働達成モデル校やコミュニティ・スクールの取り組みを推進したことにより、学校・家庭・地域の連携が図られ、目標値を達成した。なお、27年度実績値が28年10月確定予定のため、27年度の目標値と実績値は26年度の数値を記載している。	達成

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	<ul style="list-style-type: none"> ・学校・家庭・地域の連携が進んできており、地域とともにある学校づくりにつながっている。 ・有識者等で構成される大分県特別支援学校第三者評価委員会において第三者評価を実施することにより、学校改革の推進が図られた。
②	<ul style="list-style-type: none"> ・地域人材を活用した放課後等の活動に11,229人の児童が参加した。(H26年度比+277人) ・中学校の運動部活動に612人の地域人材を活用した。(H26年度比+13人)
③	<ul style="list-style-type: none"> ・「芯の通った学校組織」の考え方やツールを活用した学力・体力向上、組織的な生徒指導、学校・家庭・地域の協働などの取り組みが進んできている。また、取り組みを通じて主任等の意識の向上が図られている。 ・目標協働達成モデル校をはじめ、目標協働達成の取り組みを進めている学校では、重点目標に掲げた学力向上等に相応の成果が見られるとともに、家庭や地域の学校への関心が高まるといった効果も現れている。 ・主要主任等を活用した、ミドル・アップダウン・マネジメントによる学校運営が定着しつつあり、運営委員会の設置が迅速な意思決定や主要主任等の学校運営への参画意識の向上につながっている。 ・定期健康診断で「要指導」と判定された教職員に対して、生活習慣改善の必要性を認識させ、その実行を促すため、H27年度から産業医面接を個別支援に追加し、より多くの指導を行った。
④	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に根ざした学校づくりを推進するため、コミュニティ・スクールの導入など、地域と学校との協働を活性化する取り組みを図った。 ・低所得世帯に対する奨学金の給付について、各学校において支払事務を行う等事務の効率化を図るとともに、教科書費や教材費等授業料以外の教育費負担の軽減を図った。
⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・就職支援員の配置など進路指導の充実支援に取り組んだ結果、私立高校生の就職内定率は97.9%となり、全国平均を0.2ポイント上回る高水準を維持できた。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(27年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載頁
			総合評価	28年度の方向性	
①	いじめ・不登校等未然防止対策事業	175,614	A	継続・見直し	195
	いじめ・不登校解決支援事業	147,287	D	例外的に継続	196
②	放課後・土曜学習支援事業	55,025	A	継続・見直し	202
	大分っ子体力向上推進事業	20,938	B	終了	190
③	「芯の通った学校組織」定着推進事業	11,200	A	継続・見直し	198
④	公立高等学校等奨学金給付事業	167,881	A	継続・見直し	199
⑤	私立学校運営費補助	3,227,328	A	継続・見直し	91
	私立幼稚園運営費補助	966,492	A	継続・見直し	68

【VI. 施策に対する意見・提言】

○県立学校総括安全衛生委員会(H27.11)
 ・要精密判定を受けた県立学校教職員からの受診報告数が少ない。受診していない可能性もあるため、受診結果報告書を必ず提出するよう管理職等から対象者に指導してほしい。

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成マネジメント、組織マネジメントにおいて、徹底が必要な観点(「8つの観点」)を念頭に置いた取り組みが進みつつある。また、「芯の通った学校組織」の考え方やツールを活用した学力・体力向上、組織的な生徒指導、学校・家庭・地域の協働などの取り組みが進んできている。「芯の通った学校組織」の確立に向け、指導・支援のさらなる強化により、目標達成マネジメントツールの連動性への意識向上、マネジメントツールを活用した検証・改善の充実を図る。 ・目標協働達成モデル校及びコミュニティ・スクールの推進により、学校・家庭・地域の連携が図られてきており、今後も「学びに向かう学校」の取り組みなど、家庭・地域と連携した学校づくりを推進する。 ・目標協働達成モデル校38校の取り組みを県全体へ普及・促進させる。 ・地域人材である支援者への研修プログラムを充実し、地域人材活用の拡充を進めるとともに、市町村社会教育主管課長・担当者会議等で先進事例等の紹介や事業成果の周知を積極的に行い、放課後等の学習支援の一層の推進を図る。 ・子どもたちへの補充学習や体験活動の機会拡大に向け、新たな地域人材の確保に努めるとともに、支援者自身の生きがいづくりや地域コミュニティの再構築を促進する。 ・生徒の多様なニーズに対応できるよう、地域スポーツ指導者の発掘及び活用を促進する。 ・学校の組織的な取り組みを推進し、教職員の課題解決能力を向上させるためには、教職員の意識改革と資質能力の向上を図る必要があることから、教職員研修企画調整会議等を活用し、教育センター等関係機関との一層の連携を図るとともに、教育課題解決に対する研修内容の充実を図る。 ・定期健康診断で有所見率の高い項目は血清脂質、肥満、血圧であり、教職員が個々の生活習慣を改善していくための指導を行う。 ・メンタル不調者の早期発見・早期対応のため、ストレスチェックの徹底や管理監督者等への研修などを通じて、セルフケア、ラインケアの充実を図る。 ・地域の高等学校が地域に信頼され、生徒に選ばれる高等学校となるため、地域のニーズを踏まえた魅力・特色ある高等学校づくりを推進する。 ・各私立学校では、創立者が掲げた「建学の精神」に基づき、個性豊かで特色ある学校づくりを進めている。今後も、各学校の魅力ある学校づくりを評価するとともに、その取り組みがさらに加速するよう支援する。